

夏季のイベントにおける熱中症対策

<イベント実施時の例>

③ イベント実施時 イベント実施直前・当日チェック

1) 適切な呼びかけ・啓発の実施—呼びかけ・啓発手段の確保と準備

- 暑熱環境測定結果の放送、会場内掲示、ホームページでの広報
- イベントの進行(待機時間、休憩時間)を考慮した呼びかけの計画
- イベント主催者のSNSにより熱中症予防のための情報発信

2) スタッフに対する対応

- 1週間前くらいからの暑熱順化
- 対応スタッフの担当エリア・人数の確認
- 各現場と本部との連絡方法の確認、定期的な連絡実施
- 暑熱環境確認(屋外ではなるべく風通しの良い日陰で)
- 空調の効いた休憩場所の準備(空調、スポットクーラー等)
- 無料スポーツ飲料の提供 シフトの確認、定期的な安否確認
- 光反射性、通気性、透湿性のよい制服や帽子の準備
- 不調な場合は作業からの除外
- 暑さ指数、気象予報の周知徹底、情報を一元化した上での提供・発信

